

京都市会議員

中島たくや 新聞

第6号 新春拡大版

「お役所仕事」めった切り



新年あけましておめでとつございませす。
本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年4月の市会議員選挙。
4,073票を頂き、初当選。
支援組織のない中、多くの
市民の皆様にお支えをいただきました。

市議会ではまちづくり委員会の副委員長に就任。
土日深夜関係なく、政務調査に没頭しております。
見えてきたのは、なれあい政治のなれの果て。
議会で徹底追及して参りました。
本号では調査の一部をご紹介します。是非、ご覧下さい!!



興味津々! 「知りたい!」「読みたい!」、が目白押し!

中面のご案内

議会活動
報告

お役所仕事にメス!

なにこれ!? 外郭団体の外郭団体	京都市 都市整備公社の アイドルグループ!? ほっとかナイス	外債運用で 巨額損失! 市民の寄付金を 外債に投資	不祥事続出 現業職の 採用開始 改革に逆行する暴挙
船岡山公園の レンタル料 大徳寺に 毎年 8,000万円!?	消防団器具庫 の耐震化を 長期貸付金制度の 創設を	生活保護の 不正受給対策 ケースワーカーの 大幅増員を	被災地の ガレキ 受け入れを 東北からは悲痛の声
毎年9万冊が 廃棄処分! リサイクルを	本当に達成!? 地下鉄 5万人増計画 計画後半に 9倍の増客計画	水道の 開閉栓業務は 必要? 年間、1億1,880万 以上の経費の是非	議員定数 削減の議論 がスタート 議会からはじめる 財政再建



地域政党「京都党」幹事団

裏面のご案内

市政
GOOD
ニュース

もっと住みたくなる街へ
東寺消防庁舎が救急専門へ!
西大路駅がバリアフリーに!

コラム

**1年生議員が見た議会
都構想に想う**



当選直後の数々の瞬間、選挙を手伝ってくれた仲間たち。

プロフィール

昭和58年12月13日生まれ、唐橋在住。
同志社大学政策学部卒、
地域政党「京都党」総務会長。
金融分野のITコンサルタントを経て、
地域政党「京都党」の結党に参画。
平成23年4月、4,073票を頂き初当選、
まちづくり委員会副委員長に就任。



カンパの
お願い

活動資金が枯渇しております。
市政活動へのご協力宜しくお願い申し上げます。
郵便振替 中島拓哉後援会:00930-3-30446

ボランティア
募集

中島たくや新聞は1軒、1軒ポストにお届け中。
新聞配達にご協力頂ける方、大募集!!

市民相談
お寄せ
ください

道路補修、カーブミラーの設置など何でも構いません。
ご要望は後援会事務所まで。



いよいよ2月、議会の壇上へ!!

代表質問をいたします。
KBS放送、インターネットで生中継。

是非
ご覧ください

地域政党
「京都党」
とは

平成22年8月に、
堀場製作所創業者、京都市元副市長、大学教授、
前市会議員などと結党。現在、市議4名。
市民手動の政治を目指し、しがらみ政治を一掃中。

「京都党」
の
主要政策

- 1 財政再建
- 2 ストップ人口減!「住みやすい都市」の実現
- 3 京都文化首都構想



地域政党「京都党」定例会議で市政報告



市議員4名と堀場最高顧問

行政
不正
110番
後援会事務所
までご連絡を!!

中島 拓哉 後援会事務所

〒601-8046
京都市南区東九条西山町23-6(京都テラス西隣、九条西河院下川)
075-691-5591
info@nakajimatakuya.com
http://nakajimatakuya.com
@nakajimata (もつとつぶやく市会議員)

中島たくや新聞第6号、新春拡大版
編集・発行:中島拓哉後援会

市政
GOOD
ニュース

**もっと
住みたくなる
街へ**

東寺消防庁舎が救急専門へ!

市内では近年、火災が減少する一方で、
救急要請は急増。
救急対応を強化するため、東寺消防庁
舎が救急出張所に生まれ変わります!

市内初!



西大路駅がバリアフリーに!

JR西大路駅のバリアフリーは地元の
悲願。駅の構造上、設置が困難であった
エレベーターやスロープなどの設置が
決定されました!

2020年までに



コラム

**1年生
議員が見た
議会**

9月議会の議案説明

自民、民主、公明が相乗りする市長に大阪のような
抜本的な改革は期待できない。
市長と党3会派の顔色を伺いながらの市政運営。
スピード感のない無難な市長。これでは、市政の
閉塞感を打破できない。市長が変われば、市政が変わるのは事実。だからこそ、同じ想い
を持つ市長を誕生させたい。しかしながら、2月の市長選挙に候補者の擁立は見送った。
まずは、議会における「共産vs.非共産」の2局構造の打破。市長提案に承認、批判のみの
議会ではなく、議会主導で市政を動かす。
地域政党「京都党」はみんなの党と連携し、行財政改革のプロジェクトチームを結成。
議会のあらゆる可能性に挑戦し、京都から議会のあるべき姿を発信して参ります!



11月議会の議案説明

都構想に想う

11月の大阪ダブル選挙で維新の会が圧勝。
都構想を掲げ、二重行政の打破を訴えた。
今後の動向に注目している。
京都においても、もちろん二重行政はある。
厳しい財政状況の中、二重行政の解消は急務。
都構想はそのひとつの手段。もし京都に都構想が実現すれば、南区はどうなるのか。
都の場合、行政区単位で行政サービスを立案。もちろん、徴税も行政区単位で実施。
とすれば、世界的な大企業が数多く立地する南区は、法人税収入が潤沢。うまく行けば、
東京都港区のような財政力のある自治体になるかも。港区は毎年100億円も税金が
あまり、1,000億円以上の貯金を抱える一方で、借金の仕方を忘れないように、毎年
1億円借金をすると噂される自治体。南区も港区のように財政力のある自治体になり、
区民サービスの向上に貢献。そう考えると、都構想も悪くない。

